



No. **26**

発行者 沼津市商工会
 会長 松永公良
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL (055) 966-1331 FAX (055) 967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL (0558) 94-2224 FAX (0558) 94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



4月4日 さわやかウォーキング&白隠さくら祭 メインステージ風景

原・浮島の発展を願う



浮島地区連合自治会長
杉澤正昭

原・浮島の歴史は古い。昭和三十年に原町と浮島村が合併し丁度その頃は沼津の中学校に行く為、毎日自転車で矢通りを通り原駅から沼津に通学していた。その頃の矢通りは歩く人自転車の人で賑やかだった。そして皆原駅を利用していた。

小学生の行事に、どんど焼があった。おんべ、こんべを立ててお飾りやダルマなどを吊るすのは今と同じであるが、昔はどんど焼の中に上級生が寝泊まりした。何故か？他地区の子供達に燃やされないうえだといふ真剣に考えていた。原は浮島に、浮島は原にと思っていた。そんな訳で原と浮島は他の地域以上に

関わりが深かった。

さて現在では、今年三十三回を迎える原・浮島ふるさと夏まつりがある。去年のおまつりでは資金面で大変厳しい出だしとなり花火大会は行わないと報道されると、住民から花火を期待する声が上がりになった。このことをきっかけに、夏まつりを両地区の伝統行事に育て、両地区の住民が等しく参加し楽しめようという目的を掲げ、どうしたらよいかを検討する改革委員会が設けられ、真剣な議論が行われた。

諸般の事情により浮島の納涼祭は平成二〇年に取り止め、浮島には夏まつりがないので原・浮島ふるさと夏まつりに力を注いでいきたい。それには浮島がイベント等に積極的に参加し、駐車場も十分確保出来ればと思う。

これからも原・浮島が協力し合い沼津市西部地域の発展に努力していくことが欠かせないと思う。

写真コンテスト 募集中!!



テーマ
ふるさとのにぎわい
締切：2010年9月30日

原・浮島、戸田地区で撮影した、
伝統のまつり、運動会、朝市、海水浴、
夜店、遊戯大会、ウォークなど…
にぎわいを感じさせる写真を募集します。
カラープリントをお送りください。
作品は1人5点以内です。

～表彰～

- ・最優秀賞、優良賞、ほっと賞の計14作品。
- ・賞状と副賞(沼津市商工会商品券)

詳しくは、お電話でお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

沼津市商工会
広報委員会 055-966-1331
<http://www.numazu-s.or.jp>

「千本松・松の小径と白隠さくら花街道散策」題する恒例のJRWオーキングが、四月四日、白隠さくら祭が開催される中で行われました。沼津駅南口を出発して、春の花々が咲く蛇松緑道を千本浜に向かい、静かな大海原を見ながら片浜へ、木漏れ日の



メインステージにてゴスペルソング

さわやかウォーキングと白隠さくら祭


等が次々と披露され、参加者は、美しい自然と楽しいイベントに十分満たされたことと思えます。久保田 正彦

気持ち良い松の小径を図書印刷まで歩き、北進して沼川沿いの満開に咲いている白隠桜並木を散策。途中露天商の店が建ち並び、白隠太鼓の演奏や踊りも披露され多くの人達で賑わっていました。地区センターでは、焼きそば・お菓子・植木市等の模擬店に歩いて疲れた人が立ち寄り混雑していました。広場のステージでは、さわやかなゴスペルのコーラスが響き渡り、小さな女の子も参加してのハワイアンの踊り、そして珍しい家族で来日しているペルーの子供達のダンス

第五回理事会報告

二十一年度最後の理事会が、三月二十五日、本所と戸田支所をインターネットで結ぶTV会議で開催されました。毎回、審議の冒頭で行われる会員の加入脱退については、本年度の脱退が五十件を超え、その要因の多くが廃業によるものであったこと、反面、新規加入は二十六件で脱退の約半分に留まったことが報告され、厳しい経済の影響が浮き彫りとなりました。続いて、本年度事業の取組み状況が報告されました。特に組織財政基盤強化推進月間(一〇月〜一月)については、会員の新規加入や共済制度の加入促進の実績が達成目標を大きく下回り、今後に課題を残したことが、しかし、昨年度の会員意識調査で多くの会員が望んだ後継者の養成や会員の交流促進では、多彩な事業を展開し、会員からの評価も得て、まずまずの成果を上げたことなどが報告されました。具体的には、会員交流については、「会員名簿」の全会員配布、「新春会員交流会」や「新春講演会」の開催、静岡

空港を活用した「韓国旅行」や北陸越前の観光振興を学ぶ「越前・カニ交流研修会」の実施など。また、後継者の養成では、ビジネス書として話題の「日本で一番大切にしたい会社」の著者、法政大学大学院の坂本光司教授を塾長とする「坂本塾」を開講し、全六回の経営ゼミに三十名の若手後継者が学び、平均出席率六十三%、アンケート結果では、九割を超える塾生が有意義で講師陣にも満足との回答を寄せたことが報告されました。続いて、地区外会員の扱いも審議され、合併後、地区外会員の加入が増えてきており既に全会員の二割に達している現状を踏まえ、これまで支部組織が無かった地区外会員への支援を確実にける体制づくりが検討されました。結果、当面の暫定的措置として、二つの支部新設と近接の既存支部への編入をと合せ、地区外を五つに区分して対応することとなりました。この他、二十一年度事業の取り組み方針や五月に開催予定の総代会についても審議が行われました。




沼津信用金庫 原支店
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス <http://www.numashin.co.jp/>



あん しん for you
安・信・豊・遊 みなさまの暮らしに、安心と信頼をお届けします。
JAなんすん 原支店
〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722



静岡銀行 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309



ローンの御相談はさんしんへ
三島信用金庫 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511

戸田支所だより

中上桜並木の
ライトアップと
夜桜まつり



商工会青年部では、三月二十六日から四月九日まで中上桜並木のライトアップを行い、四月三日には夜桜まつりを開催しました。夜、戸田へ帰って来た時、きれいにライトアップされた桜は、どんな豪華なイルミネーションより美しく、私達を暖かく迎えてくれます。

夜桜まつりのイベントでは、青年部が得意とする焼きそばや焼鳥をはじめ、タカアシガ

ゴールデンウィークの
お出かけ観光スポット
アウトドア編

金冠山ハイキング

達磨山峠に車を止め、西浦方面へ向かう市民の森までのハイキングコースです。まだ有名ではありませんが、金冠山方面からの富士山は絶景です。

(詳しくは沼津市のホームページで)



ニが当る輪投げコーナー、女性部のお汁粉サービスなどが

オンザシー編
漁り火クルーズ

夜の遊覧船で夜光虫の海ホタルやイカ釣り漁船の見学をしてみませんか。幻想的な駿河湾を楽しむことができます。期間・五月八日～六月十三日の毎週土、日曜日

出港・午後八時十五分
場所・中央棧橋発
料金・無料
お問合せ 戸田観光協会
〇五五八―九四―三一一五

行われ、老若男女が夜桜の樹の下で楽しみました。

インドア編
重要文化財 松城邸



松城邸は江戸時代から明治にかけて廻船問屋を営んだ戸田の名家です。日本最古の洋風建築の建物で、松崎の入江長八が手掛けた「こて絵やランプ掛け」が建物の随所にある芸術性の高い住宅です。建築的にも太い柱の商家の造りと、本玄関をしつらえ上段の間のある武家風の造りに加え、ポルトガル製の壁紙や円柱、飾り窓などの洋風の造りを併せ持った珍しい建物です。平成二十三年からは一般公開される予定ですが、五月は左記日程で特別公開します。

五月二日、三日、十六日
九時三十分から十二時まで
お問合せ
戸田造船船土資料博物館
〇五五八―九四―二三八四

創業明治参年 味わいの宿

ときわや

高足ガニとエビカニづくしの磯料理

TEL 0558-94-3333
フリーダイヤルTEL 0120-04-1260
ホームページ <http://tokiwaya.info>

企業の繁栄と社会貢献

沼津法人会 戸田支部

支部長 中島寿之

事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224

食中毒予防の決め手はあなたの手

沼津食品衛生協会 戸田支部

支部長 真野雄二

西伊豆へだるせん
海のほたる **いさば**

■ 日海産物語 ■

〒410-3402
沼津市戸田美浜海岸3878-20
TEL 0558-94-3048(代)
URL <http://www.isaba.co.jp>

新会員ご紹介

事業所名―支所・支部名

代表者名―業種

蜂谷仮設興業―原・大塚本田

蜂谷知司―とび

浮川一夫―原・西町第二

―不動産賃貸

シテイハウス原―原・六軒町

荒井初美―不動産賃貸

栗田光進―原・浮島

―農業

招福丸―戸田

野田洋市―民宿・漁業

経営指導員日より

後継者のつばやき

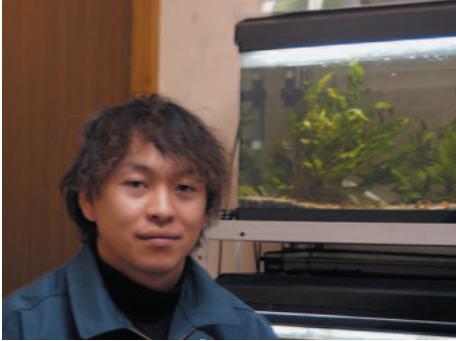
親子二代で事業を営んでいる事業所の若き後継者と、相次いで意見を交換する機会があった。上手く経営を行っているようだが、実は悩みを抱えていた。それは、「いつまでたっても、事業を任せてもらえない」こと。給料はもらっているが、事業にアイデアを提案しても、考え方があまりと意見を取り入れてくれない。自分が事業に携わったこ

とで、一体どのくらい貢献できているか。どのくらい頑張れば利益が伸ばせるのか、世間的に自分はどうか捉えられているか等：知りたいことは数知れない。せっかく継いだのに、未だ「アルバイト」のようない扱いに疑問を持っている。「自分をもっと試したい。」「自分で経営していたなら。」など悩み揺れていた。

後継者から見ると、事業主は「まだまだ後継者に事業を任せられない」というオーラが出ているようだ。それを感じ、後継者となった自分を後悔している。ある新聞記事に、子供が大人になれないのは、親の過干渉が問題である。子供らしい親が子供をだめにする：全て当てはまるとはいわないが、もしかして後継者問題に関係があるのではないか。そうだとしたら、後継者は事業のパートナーだと見直し、少しずつ業務を任せてはいかがなものか？時代は同じようでも変化している、後継者はチャンスを待っている。事業に挑戦したい！という気持ちをもつと育てて、成長する姿を見守ってほしい。(RK)



輝く職人さん
杉山特殊製紙(株)
杉山 弘仁様



紙のリサイクルメーカーとして自社で回収運搬車両を所有、管理を行い多様な紙類を脱墨パルプへとリサイクルしている沼津市井出の杉山特殊製紙(株)は「地球に優しい製品を製造する」を経営理念にあげています。環境活動にも取り組むエコアクション21を取得し、再生した紙の九割を石膏ボードの原料に、一割を板紙に加工しています。

自治会を初め行政、企業からの機密書類などの古紙回収等を通して益々地域社会の重要な位置を占めています。自社前には無料古紙回収ボ

ックスを設置して、いつでも持込み出来ることで近隣地域の利便性を図っています。杉山弘仁(二九)製造部長は、勤続七年の製造機械の開発・修理のベテランです。仕事に対して注意していることは、「二十四時間稼働していますので、夜間操業中の安全管理には常に気をつけています」と語り、廃棄物として出ますスラッジは最終的には肥料に加工されるが、これを自社で事業化してみたいと抱負を述べてくれました。

久保田 正彦

原・浮島・戸田地区 祭事のご案内

五月二日(日) 原・徳源寺

子安地藏尊大祭

五月十六日(日) 原・昌原寺

七面大祭

五月三〇日(日) 原・長興寺

駿河のこんぴらさん大祭

通常総代会のご案内

日時：平成二十二年五月十八日(火)

十五時三十分

会場：ブケ東海沼津

5月の行事予定

5月 10日 女性部通常部員総会
18日 沼津市商工会通常総代会

原支所

5月 8日 原支所青年部通常部員総会
10日 原・浮島ふるさと夏まつり企画運営委員会
20日
28日 実行委員会

戸田支所

5月 21日 タカアシガニの放流

2009~2010年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーの未来は
あなたの手に

沼津西ロータリークラブ テーマ
ロータリーで仲よく

沼津法人会 原支部
めざます企業の繁栄
と社会への貢献